

「知らずあ、
言つてきかせやしよう」

南魚沼の冬を彩る行事やイベントがめじろ押しです。多くのロケットの灯が幻想的な「しおざわ雪譜まつり」もその一つです。毎年恒例の地歌舞伎の公演も。今回、まさかの出演依頼が私に。「盛り上げるために」との強い要請に抗うことができず、2月16日(土)の舞台に立つことに。表題の名口上で有名な「白浪五人男」の「稲瀬川勢揃いの場」。五人の中で一番の若手、荒くれの南郷力丸役に。「清水の舞台から…」の思いでやってみます。

雪深い当地で、昔は大変な楽しみであったという地歌舞伎。多くの村々で時々舞台がかけられたそうです。隣の家の親父さんや若手衆が役を演じる。「あの役はあそこんしょのじさまがうまかった」とか、そういう風情。冬の夜なべ仕事の囲炉裏端でセリフの練習をしたとか。無類の歌舞伎好きだった私の亡祖母は自分は演ずることはなかったが、作業の手を休

めずに練習を聞きながら、「(今のセリフは)ちつと違ってたの」と、すべて諳んじていたと。晩年、孫の私たちが東京銀座の歌舞伎座に連れて行った際には、セリフ解説のイヤホンを渡そうとする「おら、みんなわかるすけ、いらね」と言い、驚かされたことを覚えています。そういう人が多くいたのでしよう。塩沢には、昭和初めごろの古い覚書帳が残されていて、見せていただく素人の地元一座が、遠く他県にまで公演に出かけていることなどが記されていました。上越線全通よりも前、どうやって荷を運んだのか。旅の一座が魚沼で興行する際は、他の地方と違い観る目が肥えているためひととき緊張をしたとも。雪は深い交通要衝の当地、雪に閉ざされているだけではない、明るい外向性や文化性を垣間見るよう興味を湧かせてきます。

さて、演じさせていただく五人男は天下の盗人集団。現代で言えば魅力あるあのルパン三世に通ずる卑怯未練のない悪党ども。南魚沼の元氣発信のお役に立てますか、どうか！

国際大学留学生 お国自慢コーナー ～ boast of my country ～

シリーズ
第70回

バヌアツ共和国 ニッキー エヴァンス ドアン さん



私の国はこんなところ

バヌアツは、自然災害リスクが最も高い国とされています。地震、火山噴火とサイクロンの影響をもろに受け、行楽地として売りにするにはほど遠い地ではないでしょうか。それでも、これまでに2度、地球幸福度指数で第1位に選ばれました。バヌアツには青い海、白いビーチがあり、バヌアツ人の笑顔が溢れているからです。82の島々から成り、100の言葉があり、言語多様性のある国です。公用語はビスラマ語、英語、フランス語です。1980年に、フランス・イギリスの共同統治領から独立しました。主要産業は観光です。世界で最も火口に近づける火山として有名なヤスール火山、第二次世界大戦の爪あと、現在のバンジージャンプの原点とされる伝統的な儀式を見ることができます。



バヌアツ共和国

[公用語]	ビスラマ語、英語、フランス語
[首都]	ポートビラ
[面積]	12,200km ² (157位)
[人口]	240,000人 (183位)
[GDP(PPP)]	10億ドル (173位)
[通貨]	バツ (VUV)

※GDPは国内総生産のことで、購買力平価説(PPP)により算出した数値です

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼は、母国の気候とまったく違います。勉強するのに最高の環境です。美しい山々の景色はまるで雑誌で見る写真のようです。母国に雪は降らないので、冬の経験が一番の思い出です。親切な地域の人々のおかげで、南魚沼でとても楽しく過ごしています。